



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年8月7日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

沖縄出身の俳優として 津嘉山正種さん

7日(日)＝1、3面

沖縄出身の俳優、津嘉山正種（つかやま・まさね）さん（78）＝写真＝は、自ら構成、演出したひとり語り「沖縄の魂」に取り組んでいます。6月には那覇市で「朗読劇 戦世（いくさゆう）を語る」を披露しました。この劇は、太平洋戦争末期の沖縄戦を生き延

びた住民の証言をもとにしています。俳優のケビン・コスナーさんらの吹き替えやナレーションで知られる、落ち着いた低い声が、戦場での悲惨な出来事をよみがえらせます。

20歳の時に上京した時は「言葉」の問題に苦しみました。沖縄での言葉と東京での言葉

があまりにも違ったからです。日本に復帰する前は、沖縄の人々に対する差別もありました。「沖縄人、お断り」。賃貸住宅ではそんな張り紙も珍しくなかった時代でした。

沖縄戦や差別、そして基地問題にこだわり続ける老優の心境に迫ります。

論点

戦争と平和

10日(水)＝オピニオン面



ロシアのウクライナ侵攻では、戦火は収まる兆しもなく、毎日、多くの命が失われています。長らく平和を享受してきた日本人は、戦争の現実を突きつけられ

ています。日本の平和主義の意義などについて、「同志少女よ、敵を撃て」で今年の本屋大賞に輝いた作家の逢坂冬馬さん＝写真＝と、「民主主義とは何か」

などの著書があり政治思想史が専門の宇野重規東京大教授が対談しました。「戦争と平和」をテーマにした論点を随時、掲載します。

警察の車両に連行される山上徹也容疑者＝奈良市の近鉄大和西大寺駅前



狙われた警護の穴

9日(火)＝特集面

安倍晋三元首相（67）が参院選の街頭演説中に銃撃されて死亡した事件は、8日で発生から1カ月になります。山上徹也容疑者（41）＝殺人

容疑で送検＝警護の穴を突き、安倍氏を後方から狙い始めました。演説を倒れるまで約2分。銃撃現場の様子をグラブフィッ

クで再現して警護の問題点を検証するとともに、安倍氏と山上容疑者の人生がなぜクロスしたのかを2人の年表から考えます。

特集ワイド

安藤美姫さんが語る「羽生結弦」

9日(火)＝夕刊特集ワイド

冬季五輪を連覇し、世界のフィギュアスケート界をリードしてきた羽生結弦さん（27）が、競技会からの引退とプロ転向を表明しました。羽生さんがどんな第二幕を見せてくれるのか、ファンならずとも気になるところ

ですが、アイスショーなどで活躍するフィギュアスケーター、安藤美姫さん（34）は、この転身をどう見ているのでしょうか。羽生さんが今後歩むことになる「プロの世界」についても語ってもらいました。



新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年

（古谷巨）

毎日新聞は今月から俳優ののんさんを起用した企業CMを放送しています。SNSで多くの方が感想を書いてくださっているのを見て、のんさんの発信力の強さを実感します。そんなのんさんが主役を演じる映画「さかのこ」が9月1日に公開されます。自分らしさを追求することの大切さを教えてくれる作品です。毎日新聞とタイアップした映画CMも今週からスタートします。ご期待ください。



編集後記